

置賜定住自立圏第2次共生ビジョン（案）のパブリック・コメントの結果

- 1 募集対象計画等
置賜定住自立圏第2次共生ビジョン(案)
- 2 募集期間
令和6年2月1日(木)～令和6年2月20日(火)
- 3 意見の提出者数及び件数
提出者数 3者／提出件数 4件
- 4 意見の内容及び意見に対する回答
次ページ以降に記載しています。

置賜定住自立圏第2次共生ビジョン（案）に対するパブリック・コメントへの回答について

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	担当課	修正 の有無
米沢市民からの意見						
1	全体	ー	<p>ビジョン案の「移住・定住・交流」に関して、千葉県流山市は、「母になるなら、流山市。」のキャッチコピーで、6年連続人口増加率全国トップになり、かつては数多くある東京のベッドタウンの一つにすぎなかったのがいま、脚光を浴びています。「子育て中の共働き世代」に的を絞った政策をはじめ、人材活用、産業振興、都市計画、環境保全まで、あらゆるテーマを同時並行で推し進めています。経済ジャーナリスト大西康之氏が書かれた著書「流山がすごい」が注目されています。この本の中で取り上げられている施策には米沢市が取り入れることができるもの、できないものがあると思いますが、参考になるのではないのでしょうか。解説にはこんな文面があります。「なぜ流山に人が集まってきたのか。それにはいくつもの理由があります。よく知られているのは、つくばエクスプ</p>	<p>御意見のとおり、圏域内で安心して子どもを 生み育てることができる環境をつくるため、実 効性のある総合的な取組を推進していくことが 重要です。</p> <p>御意見にもある千葉県流山市等の人口が増加 している自治体の事例も参考にしながら、医療 や福祉、子育て・教育の充実を図り、置賜の持 続的発展を支えるとともに、地域経済を活性化 させ、人々の交流で賑わう社会基盤を形成する ことで、魅力あふれる圏域を目指していきま す。</p>	政 策 企 画 課	無

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	担当課	修正 の有無
			<p>レスが 2005 年に開通したこと、『流山おおたかの森』の開発が成功したこと、2003 年から市長を務める井崎義治氏の『共働き子育て世代』に的を絞った人口流入政策が功を奏したこと、などです。匿名ブログが注目を集めたのが 2016 年。預ける保育園のない多くの共働き子育て世代の親たちは、流山に駆け込みました。何しろ流山では、駅にある送迎ステーションに子供を預ければ、保育園までの送り迎えをしてくれるのですから。」</p> <p>机上の空論ではなく、実際に足を運んでみての視察等も必要でしょうし、現場感覚に基づいたビジョン計画になることを期待しています。</p>			
他市町民からの意見						
長井市民からの意見						
1	(1)⑥ア 1 圏域内 水道の広域 連携等の検 討	31 32	<p>32 ページで防災体制の強化について書いてあるが、1月1日に起きた能登半島地震のニュースを見ていると、水道の復旧が進んでいないとの報道がある。31 ページで圏域内の水道の広域化の検討とあるが、ここで触れられているの</p>	<p>近年、全国的に地震や豪雨等による自然災害が多発しており、大規模な断水や漏水といった水道施設災害が発生した場合に備え、全国組織である公益社団法人 日本水道協会において、被災地へいち早く応援に駆け付ける体制を整えて</p>	業務課	無

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	担当課	修正 の有無
	(1)⑦ア 1 消防・ 防災体制の 強化		は、あくまでも平常時の安定供給なので、地震などの災害時に広域的にカバーできるような連携も必要だと思う。また、水道管が破損した場合でも、3市5町が協力して復旧に取り組むことも重要だと思う。それぞれの市や町で事情が違うので、すぐに何かを始めることは難しいと思うので、今後の課題として取り組んでほしい。	います。 仮に圏域内が被災した場合は、自衛隊や日本水道協会指揮のもと被災していない他県の水道事業体に応援を依頼することとなっています。能登半島地震においても、全国各地から集結した給水車による給水活動を展開したところです。 一方、水道水の安定供給や機能強化を図るため、圏域内の水道事業体が協力・連携して広域化の検討を行っていきます。		
川西町民からの意見						
1	(1)②イ 2 自殺対策における 普及啓発活動の推進	19	「ゲートキーパーの養成について」 私は10数年、民生委員児童委員として、地域福祉活動をしながらか、高齢者や障がい者等との傾聴機会を大切に活動しておりますが、近隣の付き合いの希薄が強くなり、背景には社会構造の変化があげられる。私は地域活動で”向こう三軒両隣”精神により、自主防災等で呼びかけ、地域での見守りや声かけをしながら、個々の世帯の詳しい状況把握や家庭で抱える課題に	御意見のとおり、様々な悩みや生活上の困難を抱える人に対し、早期の気づきが重要であり、地域で「気づき・つなぎ・見守る」人を育成するため、ゲートキーパーの養成等を推進して関係団体等をはじめ地域と連携しながら、包括的な支援を行う必要があります。 御意見を参考に、事業内容に「 <u>地域における多様な支え手が連携して包括的な支援を行う。</u> 」さらに、自分自身とまわりの人のいのちと心を	健康課	有

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	担当課	修正 の有無
			取り組んでいるつもりであるが、結局、個人情報という大きな壁にぶち当たる。一番必要なものは、「気づき」であり、なかなか「生活の悩み、変化」が、家族や友に届かない。個人の問題と認識されがちであるが、近年3人の知人が不幸にも自ら命を絶った。「いのちの電話」も通じていないことがあるらしい。自殺を防ぐ有効手段は社会の仕組みづくりであり、「家庭でのしつけ」や「学校での道徳教育」と思うが、隣近所の”向こう三軒両隣”精神による親交や地域祭りへの奨励金を弾む策も一つの手段と思う。事務局(案)に地域との連携強化を追記願いたい。	<u>大切にする気持ちを醸成する</u> 」旨を追記します。		
2	(2)①ア 1 米坂線の早期全線復旧に向けた取組 2 圏域内鉄道路線の	33 34 35	「鉄道とデマンドタクシーの組み合わせについて」 地域交通について、通勤や通学、日常生活等の移動手段のため、重要な役割を担うものであることは共通認識されておりますが、車社会や人口減少、過疎等の様々な社会経済環境の変化により、まちづくり等と一体的に持続可能な地	御意見のとおり、人口が減少する中、圏域住民の生活を支えるため、地域特性や移動実態等に応じた公共交通を確保・維持することが重要です。 特に、令和4年8月豪雨により甚大な被害を受けた米坂線については、圏域住民の利便性を確保するほか、太平洋側と日本海側を結ぶ重要	地域振興課	無

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	担当課	修正 の有無
	利用促進並びに山形鉄道フラワー長井線の利用拡大及び鉄道施設等の維持管理や整備 3 路線バス等の運行、維持及び広域的な公共交通網の整備に向けた検討		<p>域公共交通ネットワークへの転換が必要で、そのサービスで広域的に活性化させることが重要である。しかし、財政負担の問題や利用者の減少により、利便性や持続可能性が損なわれており、①存続②廃止による二者択一の危機的な状況を脱するには、①再構築協議会での早期財政措置②バス・タクシー等の輸送手段の確保等によるインフラ整備を検討していただきたい。鉄道維持のため、地域住民を巻き込み、自治体やJR、鉄道会社の実効性ある対策に向け、声を大にしてほしいと願う。消滅を避ける活性化の努力が重要であるが、特に山形鉄道の新たな経営改善が見受けられない。事務局(案)の事業内容は良くまとめられており、国や県、JRの役割分担やバス路線への転換等の判断を待つしかないが早期に国策として推進してほしい。</p>	<p>な路線であるため、御意見を踏まえながら、33 ページに記載のとおり、早期全線復旧に向けた要望活動を実施していきます。</p> <p>また、34・35 ページに記載していますが、関係団体とともに、圏域内鉄道路線の利用促進やフラワー長井線の利用拡大に取り組むほか、広域的な公共交通網の整備に向けた検討を引き続き進めます。</p>		

置賜定住自立圏第2次共生ビジョン（案）に対する各市町議会からの意見への回答について

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	担当課	修正 の有無
米沢市議会 総務文教常任委員会協議会（1月22日）での意見						
1	全体	－	<p>第2次ビジョンを作るに当たって、第1次ビジョンの課題をどのように考えているのか。圏域内の各市町が相互に役割分担して連携し、住民が安心して暮らせるような生活を担保することが目的であり、コロナの影響は理解するが、時代のニーズや社会情勢が変化しているのではないかと思う。本冊にもあるが、高齢化が3割に達しており、全国、県に比べて高くなっているという点について、どのような対応を考えているのか教えてほしい。</p>	<p>第1次ビジョンについては、コロナ禍と重なったため、観光分野の取組等でイベントが開催できなかつたり、本来であればワーキンググループを設置し、様々な取組を実施できればよかったのですが、影響があったと考えています。コロナも落ち着き、昨年から各分野におけるワーキンググループを開催し、第2次ビジョンをとりまとめましたので、3市5町で連携して取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>第2次ビジョンにも人口のデータは記載していますが、本市だけではなく、圏域全体で高齢化が進んでいる状況です。定住自立圏は、人口が減少し、単独自治体だけの取組が難しい中、合併ではなく取り組める内容について、連携して実施していくことが目的になりますので、ビジョンで掲げた各取組を実施していきたいと思います。</p>	政策企画課	無

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	担当課	修正 の有無
				高齢化への対応については、第1次ビジョンの中で検討してきた置賜成年後見センターを開設できたことから、運営を継続しつつ、他にも様々な課題が出てくると思いますので、今後も連携し、議論していきたいと考えています。		
2	(1)②イ 1 置賜成年後見センターの運営	18	単独ではできないことを連携してやっていくという意味では、置賜成年後見センターは大きな役割を占めていると思う。センターの利用状況について、相談しなければならぬ家庭の状況等もあって挙げにくいということもあるかもしれないが、挙げることによって、センターが必要で運営していかなければならないということが分かるのではないか。成果指標として、市民後見人養成者数が挙がっているが、なぜ利用者数や相談件数が挙がっていないのか。広域で設置したメリットが分かるよう、活動状況が分かるものを示してほしい。	利用者数も重要な視点ですが、成年後見制度については、利用者数が増えればよいというわけではないという議論もあるため、市民後見人養成者数を増やしていきたいことから、成果指標として設定したものです。 なお、各取組の進捗状況について、情報を発信していくことは重要であるため、一定の成果が出てきましたら報告したいと思います。	政策企画課	無
3	(1)④ア 2 有害鳥獣対策の広	21	処理施設について、白鷹町単独という話だったが、状況が変わったのか。白鷹町単独の施設だが、広域利用について検討しているという理	置賜広域行政事務組合を中心に検討してきた経過がありますが、場所等の課題があり議論が進まなかった状況にありました。白鷹町から申	政策企画課	無

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	担当課	修正 の有無
	域的対応の 検討		解でよいか。	し出があり、まずは単独で施設を整備することになり、広域利用等については、今後検討していきます。		
米沢市議会 市政協議会（1月26日）での意見						
1	全体	－	パブリック・コメントの対象者について教えてほしい。出た意見については全ての意見を受け付け、掲載するのか。他議会からの意見も気になるので、報告してほしい。	パブリック・コメントの実施主体は本市になりますが、意見は圏域住民を対象としており、各市町には周知をお願いしています。	政策企画課	無
2	(1)②イ 3 室内軽 運動場等整 備による福 祉・健康の 増進 (1)④エ 4 観光施 設の整備	19 28	長井市の単独事業が掲載されているが、対象者は置賜管内全体なのか、事業に盛り込んだ経緯を教えてほしい。	28 ページにある長井市の「旧長井小学校」や「タス」の取組は、第1次ビジョンから掲載されているものですが、長井市民だけではなく広域で利用するものであるため、掲載しています。 19 ページの室内軽運動場についても、長井市民だけではなく広く利用していただく施設としたいという長井市からの申し出があつて掲載しています。地域活性化事業債を活用できることもあるため、ビジョンに盛り込んでいます。	政策企画課	無
3			米沢市単独のものはあるか。長井市は有利な財源を利用しているという点で上手であり、米	地域活性化事業債は、充当率9割、交付税措置率3割であり、それほど有利な財源といえる	政策企画課	無

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	担当課	修正 の有無
			<p>沢市も中心市なので積極的にあげていけないのか。駅前を見ると、高校生が他市から来ているが、通過しているだけなので、高校生の集まる拠点などをつくるというアイデアはないのか。</p> <p>駐輪場の2階を活用して拠点をつくるというようなアイデアは出せないのか中心市としての役割を果たしてほしいし、いろいろなものを作ってほしい。</p>	<p>ものではありません。これまで本市で整備した施設は他に有利な財源を活用したため、地域活性化事業債を使っていません。なお、広域利用を図る施設としては、「くても」をビジョンには掲載しています。</p> <p>現在、具体的に新しい広域的施設の整備は検討しておりませんが、今後も圏域の中心市として、その役割を果たしていきたいと考えています。</p>		
長井市議会 全員協議会（1月19日）での意見						
1	各市町の概況	3	<p>第2次ビジョンから各市町の紹介（概況）に「主な産業」が追加されているが、どういった理由か。</p>	<p>圏域内の民間委員で構成する置賜定住自立圏共生ビジョン懇談会において、各市町の紹介の中で、各市町の基幹産業を掲載できないかとの御意見があったことから、各種統計資料等を参考に追記したものです。</p>	総合政策課	無

※他市町議会からの意見等はなし